

## 「里中学校の里八幡神社奉納相撲大会の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立里中学校

### 2 学年・人数

1年3人 2年4人 3年3人 (計10人)

### 3 日時・場所

令和5年10月15日(日)

里八幡神社

### 4 伝承・活用に取り組んでいる伝統行事について

#### (1) 名称 里八幡神社奉納相撲大会

(さとはちまんじんじゃほうのうすもうたいかい)

#### (2) 由来

旧暦9月18日夕方から19日午前中の里村八幡神社の秋の大祭で奉納される。内侍舞が行なわれた後、相撲大会が開催される。相撲は、園児から中学生の取組が行われる。また、3年生は島立ちを前に親子相撲も行われ、八幡神社には大勢の人々の拍手と歓声が響く。今年度は、4年ぶりに開催し、多くの町民が訪れた。

### 5 保存会や地域との連携の具体

年毎に5つの自治会が持ち回りで主催している。前日に八幡神社の土俵やあづまやの整備などの会場づくりを行っている。大会中の行事や呼び出しなど自治会が行っている。

学校も自治会と連携し、対戦表の作成やまわしの管理など運営に携わっている。

### 6 活用の取組の工夫した点

学校便り等で発信し、参観等を呼び掛けている。地域の方が来校し、土俵入りや礼法、まわしの付け方の指導を行った。

## 7 取組の様子



【相撲大会の様子】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【生徒】

- ・ まわしは恥ずかしかったけど、みんな同じ姿なので、慣れてくると恥ずかしさがなくなった。いい思い出になった。
- ・ 4年ぶりの相撲大会が開かれ、土俵の周りの多くの人たちの前で一生懸命相撲をとれた。歓声もうれしかった。
- ・ 3人抜きなど何度も戦う機会があり、かなり疲れた。卒業前に相撲大会が開かれてよかった。
- ・ 親子相撲では、父親に勝てると思ったが、激戦の末敗れた。いい思い出になった。

### 【保護者】

- ・ 子供と久しぶりに本気の相撲をとることができた。取った後は二人ともへとへとに疲れ、土俵の上で起き上がることができなかった。今回は息子に勝てることが出来てよかった。
- ・ 子供の成長を感じる事が出来た。

### 【教職員】

- ・ 生徒たちのまわし1枚で相撲に一生懸命に土俵で戦い、それを地域の方が見守る姿を見て、地域の一員として大切にされている存在だなあと改めて感じる機会となった。
- ・ 中学3年生の親子相撲を見て、必死にぶつかる姿にとっても感動しました。

### 【保存会】

- ・ 感染症の影響も明け、久しぶりに地域の子供たちの頑張りに神社の境内も活気づきました。今後も継承していきたい。
- ・ 地域の方々にもたくさん集まってくいただき、盛況でした。地域の子供たちを守り、育てる地域の交流の場となりました。